

高等学校 芸術科 「美術Ⅱ」学習指導案

埼玉県立蕨高等学校 第2学年8・9・10組 24名
平成28年10月20日(木) 第2校時
使用教室 美術室 教諭 増田 美沙

- 1 題材名 芸術交流会「Art Gallery がうまれるとき」
～サンドブラスト技法によるガラス作品の展覧会のつくり方～

- 2 題材について
(1) 生徒の実態

1年次より生徒たちはデッサンや油彩画等の制作体験を経て、完成作品に対して意見や感想を交換しながら鑑賞し合い、少しずつ能動的に鑑賞する態度を養ってきた。1年次後期の現代アート作品を楽しむ方法を学ぶ鑑賞の授業では、話し合い活動を中心とした協調学習の手法を用い、積極的に自分の意見を述べたり他者の考え方に共感したりする中で、国際美術展やインスタレーション作品等における展示方法やいくつかの視点で作品鑑賞できることを理解した。

2年次前期の最初の課題では、サンドブラスト技法によるガラス作品を制作した。透明なガラスの側面にサンドブラスト技法を用いて半透明な装飾を施す图案を考え、その图案に沿ってマスキングシートをカッターで切り出した。テーマである「日本の文様、自然、植物、動物」から発想し、具体的なモチーフを選択し組み合わせ、ユニークな印象のアイデアを生み出していた。また、多くの生徒がカッターで切る作業も集中し、丁寧に細やかに、最後まで取り組むことができた。切る作業を進める中で、失敗した部分をやり直したり、ガラス面の透明・半透明それぞれの分量のバランスを見直し修正する者もいた。

- (2) 本題材を指導するにあたって

本校の芸術科では3年前より継続して、2年次の授業の中で芸術交流会を行っている。音楽選択者は美術・書道選択者に向けて、ミニコンサートを開き、美術選択者は授業で制作した作品を発表している。芸術を楽しむ機会となっているだけでなく、自分の作品を他者に発表する緊張感のある場になっている。本題材では、2時間(65分授業×2)の中で、作品のよさを伝えながら、作品を楽しんでもらえる展示方法について考察し、ガラス作品の展覧会を行なう。まず、美術館やギャラリーにおいて、展覧会がどのように企画されているのかを学ぶ。今回の展覧会は「誰に向けた何の為に行なうものか」という目的を明確にした上で、グループに分かれて、展覧会のテーマや会場のレイアウト等について話し合い、企画書を作成する。各グループのプレゼンテーション後、クラス全体で話し合い企画を決定する。改善点を見つけ、本番に臨む。生徒たちには展覧会作りを通じて、展覧会にはテーマや作品を味わい楽しむための工夫があることを理解し、展覧会そのものへの関心を高めてもらいたい。美術館へ足を運んだり日常的に作品を飾ったり、鑑賞体験を楽しみ生涯にわたり美術を愛好してもらいたい。

- 3 題材の目標

諸条件の中で、鑑賞者の気持ちを考えながら、作品の魅力やよさを伝える効果的な展示方法についてグループや全体で話し合い、展覧会の企画を練る。展覧会の企画書をもとに、工夫をこらしながら協力をして会場を作り上げる。

- 4 対応する学習指導要領の指導事項

A 表現

(2) デザイン

イ 目的や条件などを基に、デザイン効果を考えて創造的で心豊かな表現の構想を練ること。

ウ 主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表現すること。

5 題材の評価規準及び学習活動に即した評価規準

①題材の評価規準（「評価規準に盛り込むべき事項」を基に作成）

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
展覧会を開催することに関心をもち、鑑賞者の気持ちを考えながら、作品の美しさやよさを伝える効果的な展示方法について、創造的で心豊かな表現の構想を練ろうとしている。	デザインの目的や条件、機能や造形的な美しさを考え、展覧会の主題を生成し、創造的な構想を練っている。	展示作品や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。	展覧会の意図や構成の工夫などを感じ取り、展覧会に対する見方や感じ方、考えなどをもち、理解している。

②学習活動に即した評価規準

美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
表現 関① 形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して展覧会の構想を練ろうとしている。 表現 関② 技法や材料、用具の特性や効果を主体的に生かし、計画や手順を吟味しながら展覧会作成の見通しをもって表現しようとしている。	発① 展覧会開催に向けて、誰に向けた何の為に、行なうものなのか」という目的や条件、機能や造形的な美しさを考え、主題を生成している。 発② 主題を基に、素材や表現形式の特性と、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。	創① 展示作品や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。 創② 展示方法を創意工夫し、目的や意図に基づいて、計画や手順を吟味し、画実現の見通しをもって表現している。	鑑① 展覧会の意図や構成の工夫などを感じ取りながら、展示会場を客観的に見て改善点を見つけようとしている。

6 指導と評価の計画（2時間扱い）

学習のねらい、学習活動 ※「●」は学習のねらい 「・」は学習活動	学習活動に即した評価規準				評価方法、留意点等
	関	発	創	鑑	
1 課題の把握と発想・構想（1時間） ● 展覧会への興味関心を高める。 ・美術館やギャラリーで開催される展覧会がどのように企画されているかについて学ぶ。 ● 創造的な展覧会の企画を練る。 ・展覧会のテーマや会場のレイアウト、作品の飾り方等についてグループで話し合い、展覧会の企画書を作成する。 ● 企画内容への理解を深める。 ・グループごとに企画内容を発表する。 ・展覧会会場全体の構成を決める。	↓	↓			〈美術への関心・意欲・態度〉 関① 【話し合いの様子、ワークシート】 関② 【展示設営を行う様子、ワークシート】 〈発想や構想の能力〉 発① 発② 【話し合いの様子、発表の発言、企画書】 〈創造的な技能〉 創① 創② 【展示設営を行う様子、表現、ワークシート】 〈鑑賞の能力〉 鑑① 【記述、ワークシート】
2 展覧会の設営と開催（1時間） ● 展示方法を創意工夫しながら展覧会会場を作る。 ・決定した企画内容をもとに、作品や	↓	↓	↓	↓	
	関①	発②	創②	鑑①	

展示台等を飾り会場作りを試みる。 ●企画書を見直し、展示方法を創意工夫しながら展覧会会場を作る。 ・決定した企画内容の改善点を見つけ、展覧会会場を作る。 ●他の芸術選択者を展覧会へ招待し、交流を図る。 ・鑑賞者に展覧会と作品について案内する。	関②	発②	創① 創②	関②【展示設営を行う様子、ワークシート】 発②【話し合いの様子、発表の発言、企画書】 創① 創②【展示設営を行う様子、表現、ワークシート】
--	----	----	--------------	--

※表の中の表記は以下のとおりである。■「学習活動に即した評価規準」の欄の四つの枠内は観点を示す。「関」は「美術への関心・意欲・態度」、「発」は「発想や構想の能力」、「創」は「創造的な技能」、「鑑」は「鑑賞の能力」を示している。■□は、「学習活動に即した評価規準」を示す。例えば、関①は、評価の観点「美術への関心・意欲・態度」の「学習活動に即した評価規準①」を示している。■【 】は、評価方法・資料を示す。

7 本題材における「学習活動に即した評価規準」及び「十分に満足できる」状況(A)の具体例と「努力を要する」状況(C)と評価した生徒への指導の手立て
〈美術への関心・意欲・態度〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分に満足できる」状況の具体例 ■「努力を要する」状況の生徒への手だて
関①	主体的に企画書を作成し、形や色彩などの造形要素の働きを考えながら創意工夫して展覧会の構想を練ろうとしている。	◎展覧会において自分の作品をグループで発表することに関心を持ち、一般的な企画展の作成について積極的に理解し、作品の魅力やよさを引き出すような展示方法を見つけ出そうと模索している。 ■自らが展覧会作りに携わり、自分の作品のよさを鑑賞者と共有できる面白さに気付かせ、意欲を引き出す。
関②	技法や材料、用具の特性や効果を主体的に生かし、計画や手順を吟味しながら展覧会作成の見通しをもって表現しようとしている。	◎作成した企画書をもとに、ガラス作品の魅力やよさを生かし、鑑賞者の動線に配慮しながら、照明や展示台等を効果的に使用し、協力しながら展覧会会場を作り上げている。 ■自分の作品の見せ方ばかりに気を取られている場合、会場全体の印象が個人の作品の印象にも影響することに気付かせる。

〈発想や構想の能力〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分に満足できる」状況の具体例 ■「努力を要する」状況の生徒への手だて
発①	展覧会開催に向けて、「誰に向けて何の為に何を行なうものなのか」という目的や条件、機能や造形的な美しさを考え、主題を生成している。	◎グループ活動において、積極的に発言し合い、作品の魅力を伝え、鑑賞者が楽しめるような工夫をこらした企画内容を追求している。 ■自分の作品のよさを客観的に見直させ、鑑賞者の気持ちになって作品を見る視点に気付かせる。
発②	主題を基に、素材や表現形式の特性と、形や色彩、質感などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練っている。	◎ガラス作品の魅力やよさを踏まえて、展覧会のテーマを決め、照明や展示台等を用いて、創造的な展覧会の企画を練ることができる。 ■作品のよさを引き出す展示方法にはいくつかあり、その可能性を探るよう作品の配置や照明の有無等によって、作品の見え方に違いが生まれることに気付かせる。

〈創造的な技能〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分満足できる」状況の具体例 ■「努力を要する」状況の生徒への手だて
創①	展示作品や用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現している。	◎ガラス作品の魅力やよさを踏まえて、展覧会のテーマを決め、照明や展示台等を用いて、創造的な展覧会の企画書を作成し、分かりやすく説明することができる。 ■プレゼンテーション時に説明が不十分な場合、質問をしてグループで話し合った内容を聞き出す。
創②	効果的な展示方法を創意工夫し、目的や意図に基づいて、計画や手順を吟味し、企画実現の見通しをもって表現している。	◎ガラス作品の魅力やよさを生かし、鑑賞者の動線に配慮しながら、照明や展示台等を効果的に使用し、実現可能な展覧会会場を作成している。 ■展覧会の目的や条件から外れてしまっている場合、それに気付かせ、修正できることはないか考えさせる。

〈鑑賞の能力〉

学習活動に即した評価規準		◎「十分満足できる」状況の具体例 ■「努力を要する」状況の生徒への手だて
鑑①	展覧会の意図や構成の工夫などを感じ取りながら、展示会場を客観的に見て改善点を見つけようとしている。	◎展覧会のテーマや展示方法の工夫などを感じ取りながら、展示会場を客観的に見て改善点を見つけようとしている。 ■展覧会会場を設営した後の感想から、展覧会本番に活かせることがないかを考えさせる。

8 本時の計画 (1 / 2 時間目)

(1) 目標

諸条件の中で、鑑賞者の気持ちを考えながら、作品の魅力やよさを伝える効果的な展示方法についてグループや全体で話し合い、展覧会の企画を練る。

(2) 準備

教師：生徒作品、ワークシート、展覧会のチラシ、掲示資料、黒い布 6 枚、LED ライト 42 個、キャプション、模造紙 (A2 サイズ)、マジックペン、マグネット、ストップウォッチ

生徒：筆記具、椅子

(3) 展開

過程・時間	学習活動	指導上の留意点	評価と手だて ◎：十分満足できる状況 ■：努力を要する生徒への手だて	準備
導入 10 分	- 挨拶、出席確認。 ●本時の学習活動とねらいを理解する。 ●展覧会への興味関心を高める。 - 美術館やギャラリーで開催される展覧会がどのように企画されているかについて学ぶ。	○4～6名のグループで着席しているか確認する。 ○ワークシート①を見ながら、本時の学習活動とねらいを理解させる。 ○作品についてテーマや魅力、よさを伝えられるよう作品を見ながら振り返りを行う。 ○全員の作品を教室中央の机に並べておき、自由に見られるようにしておく。 ○展覧会への興味関心を高められるよう、東京都現代美術館における企画展等の作成の例を挙げる。また、いくつかの既存の展覧会のチラシを紹介する。	◎展覧会において自分の作品をグループで発表することに関心を持ち、一般的な企画展の作成について積極的に理解しようとしている。【観察・記述】 ■自らが展覧会作りに携わり、自分の作品のよさを鑑賞者と共有できる面白さに気付かせ、意欲を引き出す。	ワークシート 生徒作品 展覧会のチラシ

展開 50 分	●創造的な展覧会の企画を練る。 ・展覧会のテーマや会場のレイアウト、作品の飾り方等についてグループで話し合い、展覧会の企画書を作成する。 ・プレゼンテーション用の模造紙（A2 サイズ）に企画をまとめる。	○作品の魅力を伝える会場作りを意識し、ストーリーと鑑賞者の動線を考えて、作品の配置を決め、会場全体を構成するよう指導する。 ○キャプション、照明や展示台等の展示に使用可能な道具を紹介する。 ○安全性に配慮して作品を設置するよう指導する。 ○鑑賞者には、オーディエンス賞の投票をお願いする。1人ひとりの作品に近づいてよく見てもらえるように、また誰の作品かわかる配置を考えるように促す。 ○各グループを巡回し、助言をする。	◎グループ活動において、積極的に発言し合い、作品の魅力を伝え、鑑賞者が楽しめるような工夫をこらした企画を追求している。 【観察・発言・対話・表現】 ■自分の作品のよさを客観的に見直させ、鑑賞者の気持ちになって作品を見る視点に気付かせる。 ◎ガラス作品の魅力やよさを踏まえて、展覧会のテーマを決め、照明や展示台等を用いて、創造的な展覧会の企画を練ることができる。 【観察・発言・対話・表現】 ■作品のよさを引き出す展示方法にはいくつかあり、その可能性を探るよう作品の配置や照明の有無等によって、作品の見え方に違いが生まれることに気付かせる。	ワークシート、模造紙、マジックペン、ストップウォッチ 黒い布、LEDライト、キャプション
	●企画内容への理解を深める。 ・グループごとに企画内容を発表する。発表する際、模造紙の企画書を張り出し、企画内容を説明する。（各グループ1分間） ・クロストークを行い、展示会場全体の構成を決める。	○発表の際に、展覧会のテーマや作品の展示方法、会場の全体像、鑑賞者の動線等について、ポイントを押さえて分かりやすく説明するよう促す。 ○各グループの発表後、クロストークを行い、面白く実現可能な企画を採用するように全体へ投げかける。	◎ガラス作品の魅力やよさを踏まえて、展覧会のテーマを決め、照明や展示台等を用いて、創造的な展覧会の企画書を作成し、分かりやすく説明することができる。【発表・発言・表現】 ■説明不十分な場合、質問をしてグループで話し合った内容を聞き出す。	
整理 5 分	●まとめ ・本時の活動を振り返る。 ・片付け、復元	○展覧会の企画書を作ってみてどんな感想を持ったか、また次回への課題があれば記録しておくように指示する。	◎展覧会のテーマや展示方法の工夫などを感じ取りながらも、展示会場を客観的に見て改善点を見つけようとしている。 ■各グループの企画書を比較して、工夫点に着目させる。	

芸術交流会「Art Gallery がうまれるとき」

～サンドブラスト技法によるガラス作品の展覧会の作り方～



はじめに…

芸術交流会は、音楽・書道・美術選択者がそれぞれの活動の成果を発表し合い、一緒に「芸術」を楽しむ会です。音楽選択者は美術・書道選択者に向けて、10月にミニコンサートを開き、美術選択者は2月に、サンドブラストのガラス作品を発表します。せっかく素敵なガラスを作ったのだから、自分のものだけにしておくのは勿体無い！作品の魅力やよさを伝え、共有しましょう。作品は発表をして鑑賞者に見てもらってはじめて成り立つものです。さあ、展覧会を企画し、開催してみましょう！

1 サンドブラスト技法によるガラス作品の「魅力やよさ」を語ろう！

制作のテーマは「植物／動物／自然／文様」でした。自分の作品、クラスメイトの作品を見ながら、ぜひ鑑賞者に伝えたい「魅力」や「よさ」について話し合しましょう。

2 美術館やギャラリーにおける展覧会はどのように企画されているの？

①東京都現代美術館の学芸員の仕事 ①教育普及係 ②事業係 ③企画係

＊「いま」どんな内容の展覧会が必要であるか、求められているのか。キュレーター（学芸員）は社会に目を向け、リサーチを続けながら展覧会の企画を考えています！

②どんなテーマの展覧会があるかな？展覧会のチラシから探る＊タイトルやキャッチコピーに注目！

③現代美術家 鴻池朋子氏の展覧会会場スケッチ ・ストーリー ・鑑賞者の動線 ・作品配置の工夫

3 展覧会の企画書をつくろう！

さあ、いよいよ展覧会づくり。鑑賞者の気持ちを考えながら、作品の魅力やよさを伝える効果的な展示方法についてグループで話し合ってください。まずは展覧会のコンセプトやテーマをはっきりさせておくこと！

①展覧会のテーマ②会場全体のレイアウトづくり③作品の飾り方の工夫等について考察し、模造紙に企画書を作成します。→詳しくは模造紙参照。

＊音楽選択者また書道選択者にオーディエンス賞の投票をしてもらいます！

＊安全性に配慮して作品を設置しましょう。

4 企画内容のプレゼンテーション

(1) プレゼンの内容

展覧会のテーマや会場全体のレイアウト、作品の飾り方等についてわかりやすく説明してください。

(2) 各グループのプレゼンを聞くときのポイント

その1 グラス作品の「魅力」や「よさ」を伝えようとしているか

その2 鑑賞者の動線に配慮しているか

その3 照明や展示台等を効果的に使用しているか

その4 実現可能な企画内容かどうか

メモ



5 クロストーク

どのグループの案が良かったでしょうか。全体で話し合っ、企画内容をまとめてみましょう。

6 ふりかえり

展示企画を実際につくってみてどのような感想を持ちましたか。また、次回への課題があれば記録しておきましょう。

予告…2月の展覧会開催までに、改めて企画書を見直し、改善して本番に臨みます！

グループメンバー名前()

■展示会のテーマ

■展示会場全体のレイアウトづくり

①ストーリーや鑑賞者の動線を考える → ②作品の配置を決める → ③作品の飾り方、会場全体を構成する

入口

黒板

棚

流し台

棚

本棚

椅子

流し台

イーゼル・作品・石膏像

■作品の飾り方の工夫

作品の「魅力」や「よさ」を伝える効果的な展示方法を探ろう。

*鑑賞者にオーディエンス賞の投票をしてもらう。

誰の作品かが分かるように、作品に近づいてよく見えるように作品を設置する。

注意！安全性に配慮して作品を設置すること。

ガラスを重ねて高く積み上げるのはだめ。

■使用(可能な)用具など

キャプション LED ライト 黒い布6枚

机や椅子(展示台として使用可)

《展示イメージ図など》